

## CHARGING EQUIPMENT

Publication number: JP2004229449

Publication date: 2004-08-12

Inventor: HORIGOME HIDEO

Applicant: CANON KK

Classification:

- international: **B41J2/01; H01M10/42; H01M10/48; H02J7/00; G01R31/36; H01M10/46; B41J2/01; H01M10/42; H02J7/00; G01R31/36; (IPC1-7): H02J7/00; B41J2/01; H01M10/48**

- European: H01M10/42; H02J7/00E; H02J7/00F

Application number: JP20030016719 20030124

Priority number(s): JP20030016719 20030124

Also published as:



US2004150368 (A1)

CN1519973 (A)

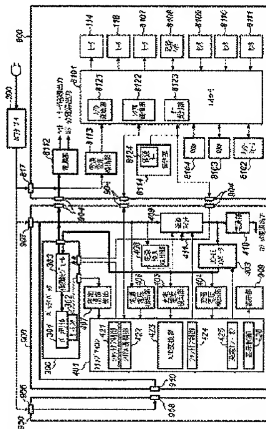
[Report a data error here](#)

### Abstract of JP2004229449

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily check the residual quantity of a secondary battery while minimizing the cost increase of charging equipment and the increment of its size.

**SOLUTION:** This is a battery charger 900 which houses a battery pack 300 and can be mounted on and removed from an ink jet printer 800 capable of being driven by the power from the battery pack 300. This has a serial communication part 422 which receives, from the ink jet printer 800, the information about the residual quantity of the battery detected by the ink jet printer 800, and an indicator 909 which indicates the residual quantity of the battery, based on the information about the residual quantity received by this serial communication part 422.

COPYRIGHT: (C)2004,JPO&NCIPI



Data supplied from the [esp@cenet](mailto:esp@cenet) database - Worldwide

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-229449

(P2004-229449A)

(43) 公開日 平成16年8月12日(2004.8.12)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

H02J 7/00

B41J 2/01

H01M 10/48

F I

H02J 7/00

H01M 10/48

B41J 3/04

X

P

I O I Z

テーマコード (参考)

2C056

5G003

5H030

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 24 頁)

(21) 出願番号 特願2003-16719 (P2003-16719)

(22) 出願日 平成15年1月24日(2003.1.24)

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(74) 代理人 100076428

弁理士 大塚 康徳

(74) 代理人 100112508

弁理士 高柳 司郎

(74) 代理人 100115071

弁理士 大塚 康弘

(74) 代理人 100116894

弁理士 木村 秀二

(72) 発明者 堀米 英雄

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

Fターム(参考) 2C056 EA24 HA51

最終頁に続く

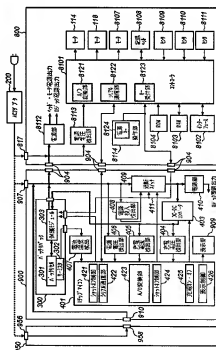
(54) 【発明の名称】 充電装置

(57) 【要約】

【課題】 充電装置のコストアップ及びサイズの増大を最小限に抑えつつ、二次電池の残量を容易に確認可能にする。

【解決手段】 バッテリーパック800を収容し、そのバッテリーパック800からの電力により駆動可能なインクジェットフリンタ800に着脱可能なバッテリーチャージャ900であって、インクジェットフリンタ800により検出されたバッテリーの残量情報をインクジェットフリンタ800から受信するシリアル通信部422と、このシリアル通信部422により受信した残量情報に基づいて電池残量を表示する表示部909とを有する。

【選択図】 図8



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

二次電池を装着し、当該二次電池により駆動可能な電子機器本体に着脱可能な充電装置であって、前記電子機器により検出された前記二次電池の残量情報を前記電子機器から受信する受信手段と、前記受信手段によって受信した前記残量情報に基づいて電池残量を表示する表示制御手段と、を有することを特徴とする充電装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明の属する技術分野】

本発明は、二次電池を充電する充電装置と、その二次電池により駆動可能な電子機器に関するものである。

## 【0002】

## 【従来の技術】

従来、バッテリーによって駆動される電子機器では、そのバッテリーの電力残量を表示することにより使用者にバッテリー残量の目安を知らせ、そのバッテリーの充電が必要な時期を使用者が容易に判断できるように便宜を図っている。

## 【0003】

このようなバッテリー残量の検出方法としては、バッテリーの充放電電流を積算して残量を計算する専用 IC を用いる電流積算方式や、バッテリー電圧が残容量の減少に伴って徐々に低下する放電電圧特性を利用し、バッテリー電圧の検出結果に基づいて残容量を推定する電圧検出方式があり、例えばノート型 PC やカムコーダでは前者を、デジタルカメラや携帯電話では後者を採用する場合が多い。後者の電圧検出方式は、前者の電流積算方式に比べて検出精度の点で不利である代わりに部品点数が少なく済むので、コストやサイズの点で有利であるという特徴がある。この電圧検出方式では、バッテリーの出力電圧をアナログ・デジタル・コンバータによってデジタル信号に変換し、そのデジタル値と所定の値とを比較することにより、そのバッテリーの残容量を判定している。そして、このようにして判定された結果は、液晶や LED 等の残量表示器に表示されて使用者に提示される。

## 【0004】

## 【発明が解決しようとする課題】

例えばノート型 PC のように、駆動電源として AC アダプタとバッテリーとが標準装備される製品では、バッテリーの充電回路や残量表示器は通常、ノート型 PC 本体に内蔵される。しかしながら、例えばインクジェットプリンタ等の小型の画像記録装置では、AC アダプタのみを標準装備し、第二の駆動電源であるバッテリーをオプション設定としている場合がほとんどである。従って、オプションであるバッテリーを使う場合にのみ必要となるバッテリーの充電回路や残量表示器をノート型 PC の場合のように記録装置本体に内蔵すると、バッテリーを必要としないユーザに対して、不要なコストアップやサイズの増大を強いることになる。そこで、バッテリーの充電回路を記録装置本体と別ユニットとし、バッテリーと同様に、その充電回路をオプション設定とするようにしている例がある。

## 【0005】

しかしながらその場合でも、バッテリーの残量表示器は記録装置本体に内蔵されており、バッテリーを必要としないユーザに対して、不要なコストアップやサイズの増大を強いる結果になっている。これは主に、最もコストが安く、サイズの増大を必要としない電圧検出方式のバッテリー残量検出を採用しているためである。このように、上述した電圧検出方式は、上記のようなメリットがあり、記録装置本体に内蔵してもコストアップやサイズの増大を招くデメリットがほとんど無いが、バッテリー電圧を検出する時の装置駆動負荷が一定になつていないと、正しいバッテリー残量を検出できないという技術的な制約がある。

## 【0006】

10

20

30

40

50

記録装置の駆動員荷が常に一定であることはほとんど無いので、駆動員荷が一定となるタイミングを選んでバッテリー電圧を検出してバッテリー残量を判定することが必要となる。しかし、このようなタイミングは記録装置本体でなければ判定することは困難であるため、バッテリーの残量検出機能を記録装置本体に内蔵することになり、それに伴いバッテリー残量表示器も記録装置本体に内蔵することになっていた。そこで、バッテリーの残量表示器をバッテリーパックに内蔵して記録装置本体のコストやサイズを増大させないようにするため、バッテリーパックにバッテリー残量管理専用のマイコン等からなる電流積算方式のバッテリー残量管理モジュールを内蔵する構成が考えられるが、これではバッテリーを必要とするユーザに対してバッテリーパックのコストアップとサイズ的大幅増大を強いることになってしまう。

#### 【00007】

本発明は上記従来例に鑑みてなされたもので、充電装置のコストアップ及びサイズの増大を最小限に抑えつつ、二次電池の残量を容易に確認可能にした充電装置を提供することにある。

#### 【00008】

##### 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明の充電装置は以下のような構成を備える。即ち、二次電池を装着し、当該二次電池により駆動可能な電子機器本体に着脱可能な充電装置であって、前記電子機器により検出された前記二次電池の残量情報を前記電子機器から受信する受信手段と、前記受信手段によって受信した前記残量情報に基づいて電池残量を表示する表示制御手段とを有することを特徴とする。

#### 【00009】

##### 【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照して本発明の好適な実施の形態を詳細に説明する。

#### 【0010】

図1は本発明の実施の形態に係る画像形成装置の全体構成を示す斜視図で、この実施の形態では、画像形成装置の一例を示すインクジェットプリンタ800、バッテリーを内蔵し、このインクジェットプリンタ800の本体に着脱可能な充電ユニットであるバッテリーチャージャ900、両者を取り付けた状態で縦置きに収容するための置き台であるクレイドル950を示している。尚、この実施の形態に係るインクジェットプリンタで記録する記録媒体として紙を例にとって説明するが、本発明はこれに限らず、記録可能なシート状の媒体ならびにどれでも構わない。また、この画像形成装置はインクジェットプリンタに限らず、サーマルプリンタ、液晶プリンタ等の他の記録方式のプリンタや、ディスプレイ等にも適用可能である。

#### 【0011】

図1において、インクジェットプリンタ800の外観は、上ケース801、下ケース802、給紙カバー808、排紙口カバー804を備えた一体シェル構造であり、プリンタとして非使用時（据え置き時、携帯時など）は、図1の示す形態をとる。またインクジェットプリンタ800の側面には、電源であるACアダプタケーブルを差し込むDCインジャック（直流電源入力用ジャック）817とUSBケーブルを接続するためのI/Fコネクタ（インターフェースコネクタ）815が設けられている。給紙カバー808は、記録時にプリンタ本体に対して開放され、紙などの記録シートを載せるための記録シート供給トレイとして機能する。

#### 【0012】

次に、バッテリーチャージャ（充電ユニット）900について説明する。このバッテリーチャージャ900は、メインケース901、カバーケース902、バッテリー蓋903を有し、バッテリー蓋903を外してメインケース901を開口することにより、充電池であるバッテリーパック（バッテリー）を取り外すことが可能になる。

## 【0018】

また、このバッテリーチャージャ900の、インクジェットプリンタ800との装着面（接続面）には、電気的に接続するための本体用コネクタ904と、機械的に取り付け及び固定するための固定ビス905、906が設けられており、図1の矢印A方向にプリンタ800の本体に接続することによって、このインクジェットプリンタ800をバッテリーにより駆動することができ、更に、このバッテリーチャージャ900の天面には、バッテリーの充電状態を示す充電表示部909が設けられており、このバッテリーチャージャ900の側面には、電源であるACアダプタケーブルを差し込むCHG-DCインジャック907と、バッテリーチャージャ900を取り付けたときにインクジェットプリンタ800のDCインジャック817を覆うための目隠し板908が設けられている。

10

## 【0014】

クレイドル950は、インクジェットプリンタ800にバッテリーチャージャ900を取り付けた状態で、図1の矢印B方向に挿入することにより置き台として機能し、インクジェットプリンタ800を図示のように直立させた状態で保持する。

## 【0015】

図2は、本実施の形態に係るインクジェットプリンタ800にバッテリーチャージャ900を装着した状態を、プリンタ背面側で、且つプリンタ天面側を斜め上から見た斜視図である。

## 【0016】

図2に示すように、インクジェットプリンタ800の背面にバッテリーチャージャ900を取り付け、固定ビス905、906で固定することにより、バッテリー駆動可能なプリンタとなる。

20

## 【0017】

また、前述したように、バッテリーチャージャ900に設けられた目隠し板908により、インクジェットプリンタ800の本体に設けられたDCインジャック817を覆うように構成されている。このため使用者は、バッテリーチャージャ900をインクジェットプリンタ800に取り付けた時には、ACアダプタからの電源ケーブルを間違えずにバッテリーチャージャ900のCHG-DCインジャック907に差すことになるので、電源ケーブルの誤挿入を防止することができる。

## 【0018】

また、このバッテリーチャージャ900の背面には、メインケース901に設けられた4ヶ所の足部901a、901b、901c、901dが設けられている。また、同背面には、クレイドル950に取り付けたときに電気的にコンタクトするための接点部910a、910b、910cが設けられている。

30

## 【0019】

さらに図2に示すように、バッテリーチャージャ900の充電表示部909は、インクジェットプリンタ800の装着および使用時に視認しやすい天面で、且つ鉛紙カバー808を開いていた時にも視認を遮られない位置に配されている。

## 【0020】

図3は、クレイドル950の構成を示す斜視図である。

40

## 【0021】

図3において、クレイドル950の外観は、アッパーケース951、床面部材952、ボトムケース953（図3では不図示）、CDL化粧板954、955を備えている。アッパーケース951の外周側面には、電源であるACアダプタケーブルを差し込むCDL-DCインジャック956と、クレイドル959にプリンタ800が収容されている状態でもバッテリーチャージャ900の充電表示部909を視認可能にするための窓部951a、951bが設けられている。ここで窓部951a、951bが対角位置に設けられているのは、バッテリーチャージャ900を装着したインクジェットプリンタ800がいずれの向きでクレイドル950に収容されても、バッテリーチャージャ900の充電表示部909を視認可能にするためである。

50

## 【0022】

また、クレイドル 950 の内側の床面部材 952 には、バッテリーチャージャ 900 を装着したインクジェットフリンタ 800 を収容した時に、バッテリーチャージャ 900 の足部 901a、901b、901c、901d (図 2) を支持するための C/D ゴム足 957 (図 3 では 3 箇所は不図示) がそれぞれ対向する位置に配されている。更に、このクレイドル 950 の内側には、バッテリーチャージャ 900 の接点部 910a、910b、910c と電気的にコンタクトするためのコンタクト端子部 958a、958b、958c と、これを保護するためのシャッタ部材 959 が設けられている。このシャッタ部材 959 は、通常はコンタクト端子部 958a、958b、958c の先端が隠れる位置まで上昇しており、バッテリーチャージャ 900 を装着したインクジェットフリンタ 800 をクレイドル 950 に収容すると、コンタクト端子部 958a、958b、958c の先端が現れる位置まで下降する (図 3 は下降した状態を示す) ことにより、バッテリーチャージャ 900 の接点部 910a、910b、910c と電気的に接続される。尚、このバッテリーチャージャ 900 の接点部と、これに接続するクレイドル 950 のコンタクト端子部の数量は本実施の形態に限るものではない。

## 【0023】

また図 3 に示すように、バッテリーチャージャ 900 の接点部 910a、910b、910c 及びクレイドル 950 のコンタクト端子部 958a、958b、958c は、それぞれバッテリーチャージャ 900、クレイドル 950 の接続面の中央部に配置されている。これにより、バッテリーチャージャ 900 を前後どちらの向きの状態でクレイドル 950 に収容しても、接点部 910a、910b、910c とコンタクト端子部 958a、958b、958c が正しい配列で電気的接続がなされるように対称な位置関係に設けられており、しかも、バッテリーチャージャ 900 の充電表示部 909 に対応するアッパーケース 951 の窓部 951a、951b も対角位置に設けられている。従って、使用者が、このバッテリーチャージャ 900 を装着したインクジェットフリンタ 800 を前後どちらの向きでクレイドル 950 に収容しても、機能上の不具合無く装着でき、充電が可能である。

## 【0024】

図 4 (a) (b) は、クレイドル 950 のシャッタ部材 959 の動作を説明する拡大斜視図であり、図 4 (a) はシャッタ部材 959 が上昇した状態を示し、図 4 (b) はシャッタ部材 959 が下降した状態を示している。

## 【0025】

図 4 (a) に示すように、クレイドル 950 に何も収容しない状態では、シャッタ部材 959 がコンタクト端子部 958a、958b、958c を完全に覆い隠す位置まで上昇し、これらのコンタクト端子部の破損等を防止している。これに対して、クレイドル 950 にインクジェットフリンタ 800 を収容すると、図 4 (b) に示す状態までシャッタ部材 959 が下降し、コンタクト端子部 958a、958b、958c がシャッタ部材 959 に設けられたスリット部 959a、959b、959c よりそれぞれ露出して、接点部 910a、910b、910c と電気的に接続可能な状態となる。

## 【0026】

また、シャッタ部材 959 を通常位置まで上昇させる付勢力は、インクジェットフリンタ 800 はもとより、バッテリーチャージャ 900 単体の重量より小さい値で設定されるものである。従って、バッテリーチャージャ 900 のみをクレイドル 950 に収容した場合においても、接点部 910a、910b、910c とコンタクト端子部 958a、958b、958c は、電気的に接続可能な構成となっている。

## 【0027】

図 5 は、バッテリーチャージャ 900 を装着したインクジェットフリンタ 800 をクレイドル 950 に収容した状態を示す斜視図で、前述の図面と共通する部分は同じ記号で示し、その説明を省略する。

## 【0028】

図 5 の状態において、前述のバッテリーチャージャ 900 の接点部 910 とクレイドル 95

10

20

30

40

50

0のコンタクト端子部958が電気的に接続されているので、クレイドル950のCDL-DCHジャック956にACアダプターケーブルを差ししておくことにより、バッテリーチャージャ900に内蔵されているバッテリーパック(バッテリー)に充電が行われる。

【0029】

図5に示すように、バッテリーチャージャ900を装着したインクジェットプリンタ800をクレイドル950に収容した状態では、バッテリーチャージャ900のCHG-DCインジャック907はアッパーケース951で覆われている。このため、使用者はクレイドル950の使用時に、ACアダプターケーブルを間違ひなくクレイドル950のCDL-DCHジャック956に差し込むことになるので、誤挿入を防止することができる。

【0030】

また、バッテリーチャージャ900の充電表示部909は、クレイドル950のアッパーケース951に設けられた窓951aを介して視認可能に構成されているので、クレイドル950に収容したままバッテリーの充電状態を確認できる。

【0031】

また図6は、図5に示したバッテリーチャージャ900を装着したインクジェットプリンタ800をクレイドル950に収容した状態の側面図である。

【0032】

図6に示すように、インクジェットプリンタ800をクレイドル950に収容した状態では、給紙カバー808が開放されない位置で支持するように構成されている。つまり、インクジェットプリンタ800をクレイドル950に収容したとき、クレイドル950のア 20  
ッパーケース951の内側に給紙カバー808が収まり、給紙カバー808の開動作を規制する。従って、バッテリーの充電中などに誤って給紙カバー808が開いたり脱落したりすることを防止できる。

【0033】

また、図6においては、クレイドル950に収容した状態でインクジェットプリンタ800のI/Fコネクタ815が完全に露出するようにアッパーケース951とCDL化粧板954を配している。従って、インクジェットプリンタ800にUSBケーブルを差ししたままクレイドル950に収容しても、クレイドル950とケーブルは干渉することが無いので、インクジェットプリンタ800をクレイドル950に収容する度にUSBケーブルを外したりする必要が無く、その様な着脱によりコネクタ部が損傷したりすることも無い 30  
。更には、このインクジェットプリンタ800は、このインクジェットプリンタ800をクレイドル950に収容した時に、そのクレイドル950より露出する箇所は光や電波などによる無線通信手段を備えてもよい。

【0034】

さらに図6に示すように、クレイドル950の形状は、インクジェットプリンタ800を収容する開口部の幅X(即ち、縦置き時のインクジェットプリンタ800の設置面の幅)と、クレイドル950の床面への設置面の幅Yとの関係が、 $X < Y$ となるように構成されている。従って、インクジェットプリンタ800を単独で縦置きする場合に比べ、クレイドル950に収容して縦置きした場合のほうが遙かに安定性が増すことになるので、単独で縦置きする時のように慎重に操作したり、安定化を図るために設置面積を広げるような 40  
足部材を別アクションで出し入れしたりする必要が無く、容易に着脱が可能である。

【0035】

前述までの実施形態においては、バッテリーを内蔵しプリンタ本体に着脱可能な充電ユニットと、その充電ユニットを装着したインクジェットプリンタを、通電機能のみを有したクレイドルに収容することによって、バッテリーに充電することが可能な構成について説明したが、本発明においてはこれに限定されるものではない。

【0036】

次に図7を参照して、本実施の形態に係るインクジェットプリンタ800の機構部の構成について説明する。

【0037】

10

20

30

40

50

図7は、本実施の形態に係るインクジェットプリンタ800の機構部の概観斜視図である。

# 【0038】

図において、105は記録ヘッドカートリッジで、記録ヘッドとインクタンク106とを一体的に構成されてキャリッジ104上に搭載され、ガイドレール103に沿って長手方向に往復運動可能となっている。この記録ヘッドより吐出されたインクは、記録ヘッドと微小な間隔を置いて、フラテンに記録面を規制された被記録材（記録シート）102に到達し、その記録シート上に画像を形成する。

# 【0039】

この記録ヘッドには、フレキシブルケーブル119を介して画像データに応じて吐出信号が供給される。なお、114はキャリッジ104をガイドレール103に沿って走査させるためのキャリッジモータである。113はキャリッジモータ114の駆動力をキャリッジ104に伝達するキャリッジ駆動ベルトである。また、118は搬送ローラ101に結合して被記録材102を搬送させるための搬送モータである。

# 【0040】

次に本実施の形態に係るインクジェットプリンタ800とバッテリーチャージャ900及びクレイドル950のそれぞれを図8のプロック図を参照して詳しく説明する。

# 【0041】

図8は、インクジェットプリンタ800とバッテリーチャージャ900及びクレイドル950の構成を説明するためのプロック図である。尚、この図8において、前述の図面と共通する部分は同じ記号で示し、その説明を省略している。

# 【0042】

図8において、インクジェットプリンタ800は、以下のような構成を備える。

# 【0043】

8101はコントローラを示し、記録ヘッド8108への記録データの供給制御や、外部機器からの記録信号を入力するインターフェース8102とRAM8103との間のデータ転送制御、更には、記録動作時にキャリッジモータ114や搬送モータ118を回転駆動する等の各種制御を実行している。このコントローラ8101は、ROM8104に記憶されている制御プログラムに従って後述する各種制御を実行する不図示のCPUや、電源電圧検出部8113からのアナログ信号をデジタル信号に変換するアナログデジタル変換部8121、後述のバッテリーチャージャ900と通信するためのシリアル通信部8122、操作部8114で操作されたキースイッチ信号を入力するキー受付部8123等を備えている。8104は、プリンタコントローラ8101が実行する制御プログラムを格納しているROM、8103は、各種データを保存するためのDRAMである。8105は記録ヘッド8108のクリーニング手段を駆動するためのバースモータである。8124は電源キースイッチで、操作部8114に設けられている。尚、この操作部8114には、各種キースイッチや表示ランプや液晶表示部等が設けられている。8112は電源部で、記録ヘッド8108や各種モータ114、118、8107の駆動電力及びコントローラ8101のロジック回路や駆動回路等を駆動するための電力を生成している。8113は電源電圧検出部で、このインクジェットプリンタ800に供給される駆動電源の電圧を検出してA/D変換部8121へ出力している。

# 【0044】

また、200はACアダプタで、商用電力（AC電力）を入力して所定のDC電圧を生成しており、このインクジェットプリンタ800の第一の駆動電源として機能している。

# 【0045】

上記の構成において、操作部8114の電源キー8124が押下されてインクジェットプリンタ800の電源がオンされるとインクジェットプリンタ800が起動し、外部機器であるホスト装置からの記録信号の受信待ちの待機状態となる。ホスト装置からの記録信号が伝送されてインターフェース8102に入力されると、コントローラ8101は、その記録信号をプリント用の記録データに変換する。そして各モータ114、118、810

10

20

30

40

50



7を駆動すると共に、その記録データに従って記録ヘッド8108を駆動して画像記録を行う。

【0046】

また、このコントローラ8101は、バッテリーチャージャ900が接続されていて、そのバッテリーからの電力供給でインクジェットフリンタ800が動作している場合には、その第二の駆動電源であるバッテリーの残容量を検出するため、所定のタイミングで内蔵のA/D変換部8121により電源電圧検出部8113の出力を検出している。また、その検出したバッテリー残容量の情報をシリアル通信部8122を介してバッテリーチャージャ900へ送信する。

【0047】

図9は、本実施の形態に係るインクジェットフリンタ800とバッテリーチャージャ900との間のシリアルデータ通信におけるデータフォーマットを説明する図である。

【0048】

このシリアルデータは、その先頭に1ビットのスタートビット、次に8ビットのデータビット、そして最後に2ビットのストップビットからなる合計11ビットのデータフレームを構成している。このデータビットには、バッテリーの充電を中断するか否かを指示するビット(D0)、シャットオフ状態へ移行するのを許可するか否かを指示するビット(D1)、充電電流の切り換え指示(D2)、バッテリーバック300の残量に依りて、バッテリーチャージャ900の表示部909への表示内容を指示するビット(D4～D6)等が割り当てられている。尚、このインクジェットフリンタ800は、電源オン状態では常に所定の周期で、シリアル通信部8122を介して、このデータフレームをバッテリーチャージャ900に送信している。

【0049】

次に、このバッテリーチャージャ900の構成について説明する。

【0050】

300はバッテリーパックを示し、インクジェットフリンタ800の第二の駆動電源として使用される。本実施の形態では、このバッテリーパックをリチウムイオンバッテリーとしているが、本発明はこれに限定されるものではない。301はバッテリーセル、302はバッテリーパック内の温度を測定するサーミスタ、303はバッテリーセル301を過電圧、過電流や過放電から保護する保護モジュールである。

【0051】

このバッテリーチャージャ900は、CHG-DCinジャック907にACアダプタ200からの電力が供給されている状態で、ACアダプタ200またはバッテリーバック300の内、出力電圧の高い方の電源出力をインクジェットフリンタ800に中継出力する電源中継機能と、ACアダプタ200のDC出力でバッテリーバック300を充電する充電機能と、パワーセーブのため自身の内部回路及びバッテリーバック300の電源出力をシャットオフする省電力機能と、インクジェットフリンタ800とシリアル通信する通信機能とを備えている。

【0052】

401は1チップマイコンを示し、このマイコンの制御プログラムが格納されているメモリが内蔵されており、このバッテリーチャージャ900全体の動作を制御している。このマイコン401が有している制御機能として、主にA/D変換部423、充電オン・オフ部425、表示制御部426、シャットオフ制御部421、シリアル通信部422が内蔵されている。403はDC-DCコンバータで、ACアダプタ200から供給される電力から、バッテリーバック300を充電するための充電電圧を生成している。409は遮断スイッチで、このバッテリーチャージャ900における消費電力をカットするための電源遮断制御を行っている。410は電源部で、このバッテリーチャージャ900のロジック回路の駆動電圧を生成するボルテージレギュレータである。408は電源投入検出部で、ACアダプタ200の出力がジャック907に接続されて、ACアダプタ200からの電力供給が開始されたのを検出すると、遮断スイッチ409の遮断状態を解除する。411は電源キ

10

20

30

40

50

一信号で、インクジェットプリンタ800の電源キー8124の押下に連動して省電力状態を解除するように結線されている。909は前述した、バッテリーの残量を使用者に報知するための表示部である。404は充電電圧検出部で、充電中の電池電圧を検出している。405は充電電流検出部で、充電電流を検出している。406は電源電圧検出部で、駆動電源の電圧を検出している。407は電池温度検出部で、サーミスタ802の抵抗値を電圧値に変換している。

【0053】

またクレイドル950のDCinジャック956にACアダプタ200の出力が接続されている時は、その供給される電力は前述のコンタクト端子部958(958a~958c)を通してバッテリーチャージャ900の端子910(910a~910c)に供給される

10

【0054】

以上の構成において、まずACアダプタ200からの電力による駆動時、及びバッテリーからの電力による駆動時の動作手順を、図10の状態遷移図を参照して説明する。尚、図10において、ACオンはACアダプタ200が接続された(ACアダプタ200のジャックが接続された)状態を示し、ACオフはACアダプタ200との非接続になった状態(ACアダプタ200のジャックが外された状態)を示し、Kエンオンは電源キーのオンを示す。

【0055】

ACアダプタ200の出力をバッテリーチャージャ900のジャック907に接続するか、  
 或いは、既にACアダプタ200の出力が接続されていてシャットオフAステート1000にある時に、インクジェットプリンタ800の電源キー8124が押下されると、電源投入検出部408或いは電源キー信号411によって遮断スイッチ409の遮断状態が解除されてインクジェットプリンタ800及びバッテリーチャージャ900の内部回路に駆動電力が供給され、1チップマイコン401が動作開始する。これにより1チップマイコン401は、内蔵メモリに格納された制御プログラムに従って、遮断スイッチ409の遮断解除状態を保持するとともに、バッテリーバック800の保護モジュール803のバッテリー遮断スイッチを遮断状態から解除する等の初期化A処理1001を行った後、スタンバイA状態1002へ移行する。

20

【0056】

このスタンバイA状態1002では、バッテリーバック800の充電が必要かを判定し、必要であれば充電ステート1003へ移行する。また既に満充電が完了している等の理由により、バッテリーバック800の充電が必要でなければスタンバイA1002の状態を保持し、インクジェットプリンタ800からのシリアルデータによってシャットオフ指示がなされるか(1004)、インクジェットプリンタ800がパワーオンしているかは定期的に送信されるはずのシリアルデータが送信されて来ない状態が所定時間経過すると(1005)、シャットオフA1000の省電力モードへ移行する。

30

【0057】

また充電ステート1003では、1チップマイコン401は電池温度検出部407、電源電圧検出部406、充電電流検出部405、充電電圧検出部404からの信号に基づいてDC-DCコンバータ403を制御してバッテリーバック800を充電する。更にこの時、表示部909に充電中であることを使用者に報知するための表示を行う。但し、インクジェットプリンタ800からのシリアルデータによって充電中断指示がなされている間は充電中断ステート1006へ移行し、バッテリーバック800の充電が一時中断される。この充電中断ステート1006では、インクジェットプリンタ800から充電再開指示がなされるか、インクジェットプリンタ800からのシリアルデータが送信されてこない状態が所定時間が経過するかすると充電ステート1003に戻り、充電が再開される。そして、この充電ステート1003で、バッテリーバック800が所定の充電量に達するとスタンバイA1002に移行する。また充電ステート1003では、1チップマイコン401は電池温度検出部407、電源電圧検出部406、充電電流検出部405、充電電圧検出部4

40

50

04からの信号に基づいて、電池温度が異常である場合やバッテリーの故障などにより充電電圧或いは充電電流が検出されない時は、DC-DCコンバータ403を制御してバッテリーバック300への充電を停止してエラーステート1007に移行する。

【0058】

次にバッテリーバック300からの電力により駆動される場合の動作手順を説明する。

【0059】

この場合はACアダプタ200が接続されていない。まず省電力モードでシャットオフBステート1010にあるときに、インクジェットフリンタ800の電源キー8124が押下されると、電源キー信号411によって遮断スイッチ409とバッテリー保護モジュール308内の遮断スイッチの遮断状態が解除され、インクジェットフリンタ800及びバッテリーチャージャ900の内部回路に駆動電力が供給され、1チップマイコン401が動作開始する。これにより1チップマイコン400は、内蔵メモリに格納された制御プログラムに従って遮断スイッチ409とバッテリー保護モジュール308内のバッテリー遮断スイッチの遮断解除状態を保持する等の初期化B処理1011を行った後、スタンバイB状態1012へ移行する。このスタンバイB状態1012では、1チップマイコン401は、インクジェットフリンタ800からのシリアルデータによる指示に従って表示部909にバッテリーバック300の残量を表示する。この際、インクジェットフリンタ800は、電源電圧検出部8118により、バッテリーチャージャ900から供給される電源電圧を検出してバッテリーバック300の残量を検出し、その検出結果をシリアル通信部8122、422を介してバッテリーチャージャ900に送信する。これによりバッテリーチャージャ900は、その残量表示を行うことができる。

【0060】

また、インクジェットフリンタ800は、電源キー8114により電源オフが指示されると、シリアルデータによってバッテリーチャージャ900に対してシャットオフ許可指示を送信する。これによりバッテリーチャージャ900は、まずバッテリーバック300の出力を遮断するシャットオフ準備ステート1013を経由してから、遮断スイッチ409をオフ状態にしてシャットオフBステート1010へ移行する。これにより、電源オフ時に於けるインクジェットフリンタ800及びバッテリーチャージャ900の暗電流によるバッテリーバック300の無駄な消耗を防ぐことができる。

【0061】

また、インクジェットフリンタ800と接続されていたバッテリーチャージャ900が、途中でインクジェットフリンタ800から離された場合について説明する。ACアダプタ200の出力がジャック907に接続された状態で、シャットオフA状態1000にあるとする。この状態で、バッテリーチャージャ900がインクジェットフリンタ800から離された場合には、一度、ACアダプタ200の出力がジャック907から離されて（ACオフ）シャットオフB状態に移行した後、再びACアダプタ200の出力端子をジャック907に接続すると（ACオン）初期化A状態1001に移行する。この初期化A状態1001で初期化が完了した後、スタンバイA状態1002に移行して、インクジェットフリンタ800からコマンドが送られてこないかチェックする。ここでは、インクジェットフリンタ800が接続されていないでコマンドは送られてこない。この場合充電が必要かどうかを判断し、必要であれば充電状態1008へ移行し充電処理を行う。そして充電を完了した後、スタンバイA状態1002に移行する。

【0062】

また、スタンバイA状態1002において、ACアダプタ200の出力端子がジャック907から離されると（ACオフ）スタンバイB状態1012に移行する。その後、ACアダプタ200の出力端子がジャック907に接続されると（ACオン）初期化A状態1001に移行し、その後スタンバイA状態に移行する。このように、ACアダプタ200の接続/非接続により、電源キー8114の指示がなくとも（インクジェットフリンタ800がバッテリーチャージャ900と接続されていなくても）、バッテリーチャージャ900単体で、充電器スタンバイA状態に移行することができ、バッテリーチャージャ900単独で

10

20

30

40

50

充電処理を行うことができる。

【0063】

以上説明したインクジェットフリンタ800において、フリンタモードと充電式のバッテリーバック300を充電する充電モードとを自動的に切替えるためのソフトウェアによる制御手順について説明する。

【0064】

図11は、本発明の実施の形態にかかるインクジェットフリンタ800における動作手順を示すフローチャートであり、この処理を実行するプログラムはROM8104に記憶されており、コントローラ8101の制御処理に基づいて実行される。

【0065】

この処理は操作部8114の電源キー8124が押下されることにより開始され、電源がオンされるとまずステップ81で、バッテリーチャージャ900に対して、シャットオフモードへの移行を禁止するシャットオフ不許可信号をシリアル通信部8122を介して送信する。これにより、バッテリーチャージャ900ではシャットオフモードへの移行を許可するフラグをリセット（オフ）する。この処理は図16のフローチャートを参照して後述する。

【0066】

次にステップ82に進み、インターフェース8102を介してホスト装置からの印刷命令が入力されるかを判定する。印刷命令が入力されるとステップ83に進み、記録ヘッド8108に乾燥及びの侵入防止のためのキャップが装着されている、所謂待機モードかどうかを判定する。この判断は、コントローラ8101自身が記録ヘッド8108のキャッピングを制御しているため、RAM8103にセットされているキャップフラグのオン・オフにより判定することができる。キャップフラグがオフ、即ち、キャップされていない場合はステップ89に進み、キャップフラグがオン、即ち、キャップされている場合はステップ84に進む。このキャップフラグは、例えばキャップをする動作が終了したときにオンされ、キャップを解除する動作（記録動作のための）が終了した場合にオフされるものである。

【0067】

ステップ84では、バッテリーチャージャ900においてバッテリーバック300の充電中が否かを判定し、充電中であるときはステップ85に進み、充電不許可を示す充電中断信号（D0=0：図9）をシリアルでバッテリーチャージャ900に送信して、バッテリーバック300の充電の停止、及び表示部909への充電中であることを示す表示を停止させる。そしてステップ86に進む。尚、この充電中が否かの判定は、シリアル通信部422、8122による通信により、バッテリーチャージャ900からの指示に基づいて判断しても良い、或いは充電許可或いは不許可を示すフラグRAM8103に設けておき、そのフラグの状態に基づいて判断しても良い。

【0068】

一方、ステップ84で充電中ではないときは直接ステップ86に進み、記録ヘッド8108のキャップ開処理を行なう。そしてステップ87に進み、前述のキャップフラグをリセットする。そしてステップ88に進み、ホスト装置からの印刷命令に従って印刷処理を行う。この印刷処理が終了するとステップ82に戻り、再度ホスト装置から印刷命令が来るのを待つ処理に進む。

【0069】

ステップ82で印刷命令を受信しない時はステップ89に進み、前述のステップ83と同様にして、キャップフラグに基づいて記録ヘッド8108がキャップされているかどうかを判定する。キャップフラグがオフ、即ち、記録ヘッド8108がキャップされていない時はステップ810に進み、前回印刷命令を受信してから経過時間を計測する。この経過時間が所定時間を越えたか否か、つまりタイムアウトになったか否かを判定し、タイムアウトでなければ前述のステップ82に戻るが、タイムアウトになるとステップ811に進み、記録ヘッド8101を保護するためにキャップするための処理を行なう。そしてス

10

20

30

40

50

ステップS12に進み、RAM8108のキャップフラグをオンにする。これらステップS9乃至S12の処理はオートキャッピング処理と呼ばれ、非印刷動作時に於ける記録ヘッド8108の目詰まりを防止するための周知の処理である。

【0070】

またステップS9で記録ヘッド8108がキャップされている場合はステップS13に進み、電源電圧検出部8113からの信号に基づいて、ACアダプタ200からの電力により駆動されているか否かを判断する。ACアダプタ200からの電力による駆動であればステップS14に進み、バッテリーパック800の充電が必要か否か（例えば、満充電になっていないかどうか）を、バッテリーチャージャ900からの信号に基づいて判定する。充電が必要であると判定するとステップS15に進み、バッテリーチャージャ900に対して充電許可を示すデータ（D0=1：図9）を送信し、バッテリーチャージャ900によるバッテリーパック800の充電及び充電中の表示を開始させる。つまり、充電モードに切替えるが、または充電モードを継続させる。一方、充電が必要ないと判定するとステップS16に進み、バッテリーチャージャ900に対して充電の中断を示すデータ（D0=0：図9）を送信し、バッテリーパック800の充電および充電中の表示を中止又は一時停止させてステップS2へ戻る。

【0071】

以上の処理をまとめれば、ステップS2、S3～S8では、フロントモードを実行するので充電処理は行わず、ステップS2、S9～S12ではフロントモードの中断または終了を判断してキャップの開処理を行い、ステップS2、S9、S13～S16では、キャップフラグに基づいて充電モードに移行する処理を行なうものである。

【0072】

なお、ステップS9で、キャップフラグがセットされている場合に、充電許可の送信のみを行い、実際の充電の処理を行うか否かは、バッテリーチャージャ900に任せる処理でも構わない。

【0073】

尚ここでインクジェットプリンタ800は、シリアル通信部8122によるデータ送信を、プリンタ800がパワーオフの状態になるまで一定時間間隔（例えば100ms）で送信し続ける。尚、電源オンに伴う初期化時に、外付けバッテリーチャージャ900の有無を検出し、有りの場合のみ、このシリアルデータの送信を行うようにしても良い。またプリンタ800は、印刷要求が無ければキャップを閉じて待機状態へ移行した後、シリアル通信部8122による送信データとして充電許可指示（充電中断しない：D0=1）をセットし、バッテリーチャージャ900へ送信開始する。

【0074】

以上のようにキャップが閉じているときにバッテリーの充電を行うようにすれば、印刷処理でモータ114、118、8107や記録ヘッド8108を駆動している期間を自動的にスキップして充電できるので、ムダ時間の少ない自動充電が可能となる。

【0075】

また充電制御が、これらモータや記録ヘッド8108の駆動電流が引き起こすノイズに影響されないので、満充電検知の精度が向上する。

【0076】

尚、ここでは、ステップS2において、ホスト装置からの印刷命令を受信するか否かを判断するように説明したが、セルフテストの印刷命令の場合にも同様に適用できることは明らかである。

【0077】

また、ステップS2を、記録ヘッド8108のクリーニング処理命令、インクカートリッジの交換操作命令、プリンタ800の初期化処理命令、プリンタ800のパワーオフ処理命令など、一時的にキャップを開ける必要のある処理の要求に置き換え、ステップS4をそれに対応する処理動作に置換えた場合にも、当然ながら同様に実行できる。即ち、これらの様々なモータや記録ヘッドに対する駆動要求に対して個々に充電のスキップ制御

10

20

30

40

50

を行わなくても、キャップが開いているか否かのみで確実に充電のスクイップ制御が実現できる。ソフトウェアの負担も少ない。また、記録ヘッド 8108 が待避位置にいるか否かを、キャップが開いているか否かに基づいて判断しているため、キャリッジのホーム位置を検出するための特別なセンサを設ける必要もなく、コストの増大を抑えることができる。

【0078】

図 12 は、本実施の形態に係るインクジェットプリンタ 800 における電源オフの時の処理を説明するフローチャートで、この処理を実行するプログラムは ROM 8104 に記憶されており、コントローラ 8101 の制御処理に基づいて実行される。

【0079】

まずステップ 821 で、インクジェットプリンタ 800 の電源キー 8124 の操作により、或いは内蔵のオートパワーオフ機能が作動するかしてパワーオフ操作が指示されるとステップ 822 に進み、記録ヘッド 8108 をカバーするためのキャップが開いているかどうかを判断し、キャップされていない場合はステップ 823 に進み、記録ヘッド 8108 をキャッピングしてステップ 824 に進む。尚、この記録ヘッド 8108 がキャップされているか否かの判定は、前述のキャップフラグにより判定することができる。

【0080】

又ステップ 822 で、記録ヘッド 8108 がキャップされている時はステップ 824 に進み、バッテリーチャージャ 900 に対してシャットオフ許可指示を送信する。これは図 9 に示すデータのビット D1 を「1」にすることにより、インクジェットプリンタ 800 からバッテリーチャージャ 900 に指示することができる。そしてステップ 825 に進み、インクジェットプリンタ 800 をパワーオフ状態へ移行する。

【0081】

図 13 は、本実施の形態のインクジェットプリンタ 800 におけるバッテリー残量検出処理を説明するフローチャートである。尚、この処理は、例えばバッテリー駆動時の記録シートの給紙、或いは排紙の直前に、又或いは A/C アダプタ 200 との接続が切れたとき等に、搬送モータ 118 をガミータンク駆動し、そのタイミングで実行している。これはバッテリーの負荷が比較的安定している状態で、かつ所定の負荷をかけた状態でバッテリー残量を計測するのが望ましいためである。

【0082】

まずステップ 8130 で、電源電圧検出部 8113 により検出された電源電圧に基づいて、駆動電源が A/C アダプタ 200 からの DC 電圧により駆動されているか、バッテリーパック 800 からの電力により駆動されているかを判定する。バッテリーによる駆動でない時（電源電圧が所定値以上の場合）はそのまま処理を終了するが、バッテリーによる駆動の場合はステップ 8131 に進み、電源電圧検出部 8113 により検出された電圧値を入力して、その入力値を RAM 8103 にストアする。

【0083】

次に図 14 のフローチャートを参照して、このインクジェットプリンタ 800 からバッテリーチャージャ 900 に対してバッテリー残量を通知する処理を説明する。尚、この処理は、インクジェットプリンタ 800 の電源がオンされていて、かつこのプリンタ 800 がバッテリーにより駆動されている場合に、例えば 100 ms 毎に起動される。

【0084】

この処理が起動されると、まずステップ 8140 で、前述のステップ 8132 で RAM 8103 に記憶された出力電圧値を読み取る。そしてステップ 8141 に進み、その出力電圧値に応じて、バッテリー残量を示す 8 ビットデータ（図 9 のビット D4～D6）を決定する。そしてステップ 8142 に進み、そのデータをシリアル通信部 8112 を介してバッテリーチャージャ 900 にシリアルで送信する。

【0085】

次に図 15 乃至図 19 のフローチャートを参照して、本発明の実施の形態に係るバッテリーチャージャ 900 における処理を説明する。尚、この処理を実行する制御プログラムは 1

10

20

30

40

50

チップマイコン４０１の不図示のＲＯＭに記憶されており、このプログラムに従って１チップマイコン４０１が制御動作を実行することにより実現される。

【００８６】

図１５は、この実施の形態に係るバッテリーチャージャ９００の全体処理を説明するフローチャートである。

【００８７】

まずステップＳ３１で、インクジェットフリンタ８００の電源キー８１２４が押下され（あるいは、ＡＣアダプタ２００の出力端子が脱着される）電源オンが指示されると、それが電源キー信号４１１となってバッテリーチャージャ９００に送られる。これによりステップＳ３２に進み、それまでのシャットオフ状態が解除されて、バッテリーチャージャ９００の電源が投入される。これにより、１チップマイコン４０１に内蔵された制御プログラムの実行が開始される。このステップＳ３２では、シャットオフ解除状態を保持するためのシャットオフ制御部４２１、４２４によって、バッテリーバック８００と遮断スイッチ４０９の出力をイネーブル状態とする。

【００８８】

次にステップＳ３３に進み、シリアル通信４２２により、インクジェットフリンタ８００からのデータを受信したかどうかをみる。前述したようにインクジェットフリンタ８００は、電源がオンされて初期化処理を実行すると、図１１のステップＳ１で、シリアル通信部８１２２を介してバッテリーチャージャ９００へシャットオフ不許可指示（Ｄ１＝１）を送信している。従って、このバッテリーチャージャ９００は、ステップＳ３３で、このシャットオフ不許可指示を受信するとステップＳ３４に進み、そのシリアルで受信したデータに応じた処理を実行する。

【００８９】

図１６は、このシャットオフ不許可指示を受信した場合のステップＳ３４における処理を説明するフローチャートである。

【００９０】

まずステップＳ５１で、シャットオフ不許可指示であると判定するとステップＳ５２に進み、１チップマイコン４０１のメモリのシャットオフ許可フラグをオフ（リセット）する。一方、ステップＳ５１で、シャットオフ不許可指示でないと判定するとステップＳ５３に進み、１チップマイコン４０１のメモリのシャットオフ許可フラグをオンにする。このシャットオフ許可フラグがオンであれば、バッテリーチャージャ９００は、バッテリーバック８００の充電が不要であると判定した場合には、シャットオフ状態に移行する。

【００９１】

次に再び図１５に戻り、ステップＳ３４でインクジェットフリンタ８００からデータを受信しない場合、或いはステップＳ３４を実行した後ステップＳ３５に進み、１チップマイコン４０１のメモリの充電許可フラグがオンかどうかをみる。オンであればステップＳ３６に進み、バッテリーバック８００を充電するための条件、例えばＡＣアダプタ２００よりの電力供給中が、バッテリー８０１の温度が正常か、バッテリーの充電が完了であるか等の条件が成立しているか否かを判定する。この条件が成立している場合はステップＳ３７に進み、遮断スイッチ４０９によりＤＣ・ＤＣコンバータ４０３にＡＣアダプタよりの電源電圧を入力し、その出力をバッテリーバック８００に供給してバッテリーバック８００の充電を開始する。

【００９２】

尚、ここではバッテリーチャージャ９００のマイコン４０１は、電源電圧検出部４０８により検出された電圧値が所定電圧以上であればＡＣアダプタ２００よりの電力が供給されていると判断し、充電電圧検出部４０４により検出された電圧値によりバッテリーバック８００の出力電圧を検出し、バッテリーの充電が必要かどうかを判断する。又バッテリーの温度が正常かどうかは、電池温度検出部４０７により検出した検出結果に基づいて判断される。

【００９３】

一方、ステップＳ３５で充電フラグがオフの時、或いはステップＳ３６で充電のための条

10

20

30

40

50

件が成立していない時はステップ 838 に進み、インクジェットプリンタ 800 が電源オンの間には定期的に入力されるはずの信号が所定時間以上入力されない、所謂、データ受信のタイムアウトが発生しているかどうかを判定する。そうであればステップ 839 に進み、充電許可フラグ、シャットオフフラグを共にオンにしてステップ 840 に進む。

【0094】

一方、ステップ 838 で、データ受信のタイムアウトが発生していない時はステップ 840 に進み、シャットオフフラグがセットされているかどうかを判定する。セットされていない時はステップ 838 に戻るが、セットされている時はステップ 841 に進み、バッテリーバック 800 の充電が完了しているか、或いはバッテリーバック 800 からの電力による動作中かどうかをみる。そうでなければステップ 838 に戻り、そうであればステップ 842 に進んでシャットオフモードに移行する。このシャットオフ処理では、バッテリーバック 800 の充電が完了するのを待ってからシャットオフ制御部 421 と 424 によってバッテリーバック 800 の出力と遮断スイッチ 409 をオフしてシャットオフ状態へ移行する。

10

【0095】

図 17 は、ステップ 834 で、シリアル通信部 422 で受信したデータに充電不許可（充電中断）情報がある場合の処理を説明するフローチャートである。

【0096】

まずステップ 861 で、シリアル通信部 422 で受信したデータのビット D0 が「0」、即ち、バッテリーチャージャ 900 において、バッテリーバック 800 の充電の不許可を示す充電中断情報（D0=0）があるかどうかを判断し、その充電中断情報が含まれていればステップ 862 に進み、1 チップマイコン 401 により充電処理を中断し、1 チップマイコン 401 のメモリの充電許可フラグをリセットしてリターンする。

20

【0097】

図 18 は、ステップ 834 で、シリアル通信部 422 で受信したデータに充電許可（充電中断しない）情報がある場合の処理を説明するフローチャートである。

【0098】

まずステップ 871 で、シリアル通信部 422 で受信したデータのビット D0 が「1」、即ち、バッテリーチャージャ 900 において、バッテリーバック 800 の充電許可を示す充電許可情報（D0=1）があるかどうかを判断し、その充電許可情報が含まれていればステップ 872 に進み、1 チップマイコン 401 のメモリの充電許可フラグをセットしてリターンする。

30

【0099】

これにより前述の図 15 のステップ 835 において、充電許可フラグがセットされていると判断されてステップ 836 に進み、充電条件が満足されているかどうかを判定され、充電条件が満足されていればステップ 837 に進み、バッテリーバック 800 の充電を開始することになる。

【0100】

尚、上述の実施の形態以外にも、例えば図 9 に示すデータのビット D2 を用いて、バッテリーの温度や充電電圧の変化等に応じて、充電電流を小電流、或いは大電流のいずれかに切り換えるようにバッテリーチャージャ 900 に対して指示するようにしても良い。

40

【0101】

図 19 は、本実施の形態に係るバッテリーチャージャ 900 におけるバッテリー残量データの受信及び表示処理を説明するフローチャートである。この処理は図 15 のステップ 834 で、受信したシリアルデータに残量表示に関するデータが含まれている場合に実行される。

【0102】

まずステップ 8190 で、シリアル通信部 422 により受信したデータがバッテリーの残量表示に関するデータを含んでいる時はステップ 8191 に進み、その 1 バイトデータに含まれている 3 ビットデータ（D4～D6）を取得する。そしてステップ 8192 に進み、

50



その８ビットデータを基にテーブルを参照して、表示部９０９に表示する残量表示のパターンを決定する。そしてステップ８１９３で、その残量表示パターンを表示部９０９に表示する。

【０１０３】

これにより、バッテリーチャージャ９００は、ほぼリアルタイムでバッテリーパック３００のバッテリー残量を表示して、ユーザにバッテリー残量を報知することができる。

〔その他の実施の形態〕

なお本発明は、複数の機器（例えばホストコンピュータ、インターフェース機器、リーガ、フリンタなど）から構成されるシステムに適用しても、一つの機器からなる装置（例えば、複写機、ファクシミリ装置など）に適用しても良い。又、例えば、スキャナ機能、プリント機能、コピー機能、ファクシミリ機能、フリンタ機能、ネットワーク機能等の複数の機能のうちの、何れか１つの機能のみを有する単一機能の装置においても本発明は適用可能であるし、上記複数の機能のうちの、例えばコピー機能とフリンタ機能の２つの機能を有するデジタル複合機やコピー／ファクシミリ／フリンタ等の３つの機能或いは３つ以上の機能を有するデジタル複合機等の、上記複数の機能のうちの２つ以上の機能を少なくとも有する複合装置においても本発明は適用可能である。

【０１０４】

また、本発明の目的は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはＣＰＵまたはＭＰＵ）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても達成されることは言うまでもない。

【０１０５】

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記録した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【０１０６】

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、ＣＤ－ＲＯＭ、ＣＤ－Ｒ、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ＲＯＭなどを用いることが出来る。また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているＯＳ（オペレーティングシステム）などが実際の処理の一部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【０１０７】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるＣＰＵなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【０１０８】

以上説明した実施の形態に係る構成は、以下の実施態様で表わすことができる。

【０１０９】

〔実施態様１〕 二次電池を装着し、当該二次電池により駆動可能な電子機器本体に着脱可能な充電装置であって、

前記電子機器により検出された前記二次電池の残量情報を前記電子機器から受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信した前記残量情報に基づいて電池残量を表示する表示制御手段と、

とを有することを特徴とする充電装置。

【０１１０】

10

20

30

40

50

〔実施態様 2〕 前記表示制御手段は、前記残量情報に依りた表示パターンを表示することと特徴とする実施態様 1 に記載の充電装置。

〔0111〕

〔実施態様 3〕 商用電源からの駆動電圧を入力する電力入力手段を更に有し、前記二次電池の出力に加えて前記商用電源からの駆動電圧を前記電子機器へ中継出力する電源中継手段を更に有することを特徴とする実施態様 1 又は 2 に記載の充電装置。

〔0112〕

〔実施態様 4〕 前記電源中継手段は、前記二次電池の出力電圧と前記商用電源からの駆動電圧の内、電圧値の高い方の電圧を選択して供給することと特徴とする実施態様 3 に記載の充電装置。

〔0113〕

〔実施態様 5〕 二次電池を収容する充電ユニットと着脱可能で、当該二次電池からの電力により駆動可能な電子機器であって、前記充電ユニットの装着時、所定のタイミングで前記二次電池の残量を検出する残量検出手段と、前記残量検出手段により検出した残量情報を前記充電ユニットへ送信する残量送信手段とを有し、前記所定のタイミングは前記二次電池の電力負荷がほぼ一定の状態であることを特徴とする電子機器。

〔0114〕

〔実施態様 6〕 前記残量検出手段は、前記二次電池の出力電圧に基づいて残容量を検出することと特徴とする実施態様 5 に記載の電子機器。

〔0115〕

〔実施態様 7〕 前記電子機器は、記録ヘッドを駆動して画像記録を行う画像記録装置であることを特徴とする実施態様 5 又は 6 に記載の電子機器。

〔0116〕

〔実施態様 8〕 前記画像記録装置は、前記記録ヘッドからインクを吐出して記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置であることを特徴とする実施態様 7 に記載の電子機器。

〔0117〕

〔実施態様 9〕 二次電池を収容し、当該二次電池により駆動可能な電子機器本体に着脱可能な充電装置における電池残量表示制御方法であって、前記電子機器により検出された前記二次電池の残量情報を前記電子機器から受信する受信工程と、前記受信工程で受信した前記残量情報に基づいて電池残量を表示する表示制御工程と、を有することを特徴とする電池残量表示制御方法。

〔0118〕

〔実施態様 10〕 前記表示制御工程では、前記残量情報に依りた表示パターンを表示することと特徴とする実施態様 9 に記載の電池残量表示制御方法。

〔0119〕

〔実施態様 11〕 商用電源からの駆動電圧を入力する電力入力工程を更に有し、前記二次電池の出力に加えて前記商用電源からの駆動電圧を前記電子機器へ中継出力する電源中継工程を更に有することを特徴とする実施態様 9 又は 10 に記載の電池残量表示制御方法。

〔0120〕

〔実施態様 12〕 前記電源中継工程では、前記二次電池の出力電圧と前記商用電源からの駆動電圧の内、電圧値の高い方の電圧を選択して供給することと特徴とする実施態様 11 に記載の電池残量表示制御方法。

〔0121〕

〔実施態様 13〕 二次電池を収容する充電ユニットと着脱可能で、当該二次電池からの

10

20

30

40

50

電力により駆動可能な電子機器における電池残量検出方法であって、前記充電ユニットの装着時、所定のタイミングで前記二次電池の残量を検出する残量検出工程と、前記残量検出工程で検出した残量情報を前記充電ユニットへ送信する残量送信工程とを有し、前記所定のタイミングは前記二次電池の電力負荷がほぼ一定の状態であることを特徴とする電池残量検出方法。

【0122】

〔実施態様14〕 前記残量検出工程では、前記二次電池の出力電圧に基づいて電池残量を検出することを特徴とする実施態様13に記載の電池残量検出方法。

【0123】

〔実施態様15〕 前記電子機器は、記録ヘッドを駆動して画像記録を行う画像記録装置であることを特徴とする実施態様13又は14に記載の電池残量検出方法。

【0124】

以上説明したように本実施の形態によれば、電池駆動可能な電子機器本体と充電装置又は表示部付の充電装置とを着脱自在に構成し、電池残量の検出を電子機器で実施して、充電装置の二次電池の残量検出結果を別体の充電装置に送信して表示するので、電子機器本体及び充電装置のコストアップ及びサイズの増大を最小限に抑えることができる充電装置と電子機器を提供することが可能となる。

【0125】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、充電装置のコストアップ及びサイズの増大を最小限に抑えつつ、二次電池の残量を容易に確認可能にできるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係るインクジェットプリンタとバッテリーチャージャ及びクレイドルを含む全体構成を示す外観斜視図である。

【図2】図1に示したインクジェットプリンタにバッテリーチャージャを装着した状態を示す外観斜視図である。

【図3】図1に示したインクジェットプリンタ及びバッテリーチャージャを収容するクレイドルの構成を示す外観斜視図である。

【図4】クレイドルのシャッター部の動作を説明する拡大斜視図である。

【図5】本実施の形態に係るバッテリーチャージャを装着したインクジェットプリンタをクレイドルに収容した状態を示す外観斜視図である。

【図6】図5に示す状態の側面図である。

【図7】本実施の形態に係るインクジェットプリンタの機構部を説明する図である。

【図8】本実施の形態に係るインクジェットプリンタ、バッテリーチャージャ及びクレイドルの構成を説明するためのブロック図である。

【図9】本実施の形態に係るインクジェットプリンタとバッテリーチャージャとの間のシリアルデータのフォーマットを説明する図である。

【図10】本実施の形態におけるインクジェットプリンタとバッテリーチャージャとの間での状態遷移を説明する状態遷移図である。

【図11】本実施の形態に係るインクジェットプリンタにおける処理を説明するフローチャートである。

【図12】本実施の形態に係るインクジェットプリンタにおけるパワーオフ処理を説明するフローチャートである。

【図13】本実施の形態に係るインクジェットプリンタにおけるバッテリー残量の検出処理を説明するフローチャートである。

【図14】本実施の形態に係るインクジェットプリンタにおけるバッテリー残量の通知処理を説明するフローチャートである。

【図15】本実施の形態に係るバッテリーチャージャにおける処理を説明するフローチャートである。

10

20

30

40

50

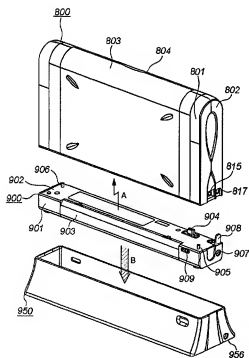
【図 16】本実施の形態に係るバッテリーチャージャにおけるシャットオフ処理を説明するフローチャートである。

【図１７】本実施の形態に係るバッテリーチャージャにおける充電不許可信号を受信した場合の処理を説明するフローチャートである。

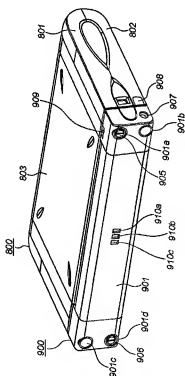
【図 18】本実施の形態に係るバッテリーチャージャにおける充電許可信号を受信した場合の処理を説明するフローチャートである。

【図 19】本実施の形態に係るバッテリーチャージャにおいてバッテリー残量データを受信した場合の処理を説明するフローチャートである。

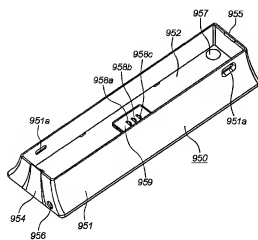
【圖 1】



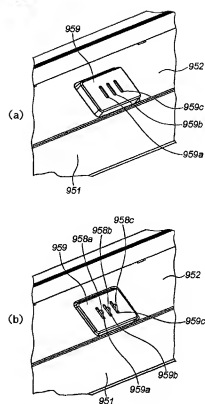
【圖 2】



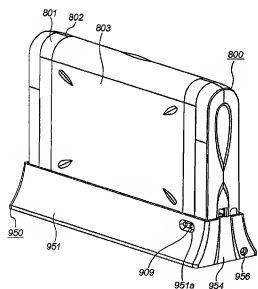
【図 3】



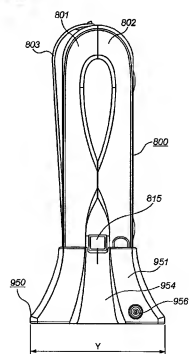
【図 4】



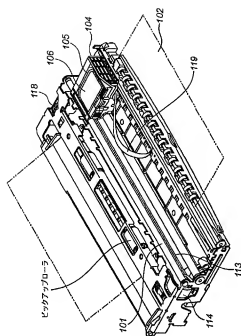
【図 5】



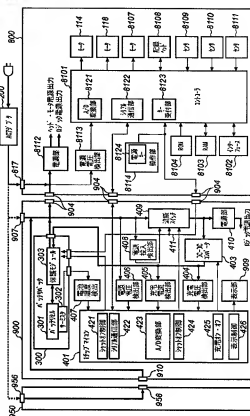
【図 6】



【図 7】

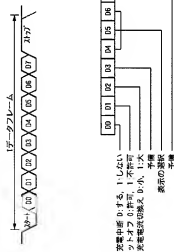


【図 8】

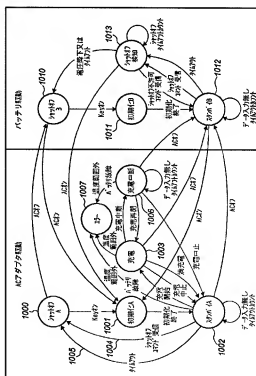


【図 9】

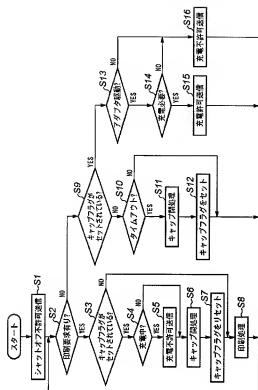
スタートビット:1ビット  
データビット:8ビット  
ストップビット:2ビット



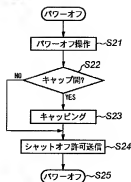
【図 10】



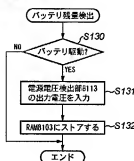
【図 11】



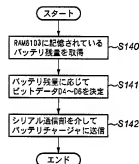
【図 12】



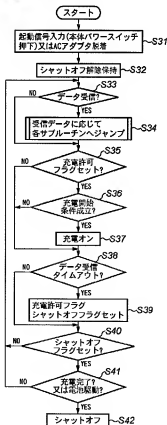
【図 18】



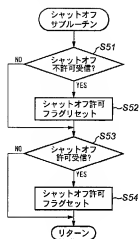
【図 14】



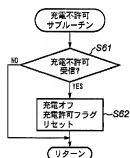
【図 15】



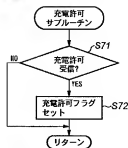
【図16】



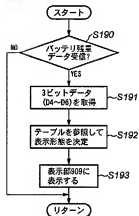
【図17】



【図18】



【図19】





---

フロントページの続き

Fターム(参考) 5G003 AA01 BA01 DA07 EA05 FA01 GC05  
5H030 AA03 AA04 AS11 DD01 DD20 FF41